

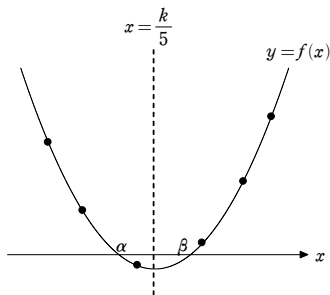
定義域が整数の2次関数【類題1】

k を正の整数とする。 $5n^2 - 2kn + 1 < 0$ を満たす整数 n がちょうど1個であるような k をすべて求めよ。

< '08 一橋大 >

【戦略1】

$f(x) = 5x^2 - 2kx + 1 \left(= 5 \left(x - \frac{k}{5} \right)^2 + 1 - \frac{k^2}{5} \right)$ とおくと、



というように、まず、 $f\left(\frac{k}{5}\right) < 0$ とならないと話になりません。

このことから、 $1 - \frac{k^2}{5} < 0$ で、 $k^2 > 5$ ですから $k = 3, 4, 5, \dots$ です。

例題の【戦略1】同様、 $f(x) = 0$ の解 α, β ($\alpha < \beta$) の幅に注目し

$$0 < \beta - \alpha \leq 2$$

ということに注目して k の範囲を絞っていきます。

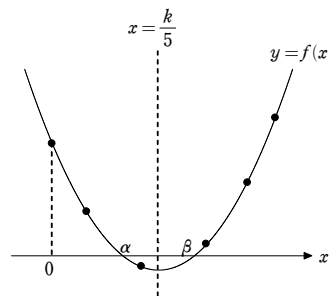
【解1】

$$\begin{aligned} f(x) &= 5x^2 - 2kx + 1 \\ &= 5 \left(x - \frac{k}{5} \right)^2 + 1 - \frac{k^2}{5} \end{aligned}$$

とおく。

題意を満たすためには、 $f\left(\frac{k}{5}\right) < 0$ 、すなわち $1 - \frac{k^2}{5} < 0$ とならなければならず、これより $k^2 > 5$ であるため、 $k = 3, 4, 5, \dots$ である。

このとき、軸の位置は $x > 0$ の範囲にあり、 $f(0) = 1 > 0$ に注意すると



$f(x) = 0$ の解を α, β ($\alpha < \beta$) とすると、

$$\alpha = \frac{k - \sqrt{k^2 - 5}}{5}, \quad \beta = \frac{k + \sqrt{k^2 - 5}}{5}$$

$\beta - \alpha = \frac{2\sqrt{k^2 - 5}}{5}$ であり、 $0 < \beta - \alpha \leq 2$ である必要がある。

($0 < \beta - \alpha$ については成り立つため、 $\beta - \alpha \leq 2$ について考える)

よって、 $\frac{2\sqrt{k^2 - 5}}{5} \leq 2$ 、すなわち $\sqrt{k^2 - 5} \leq 5$

これを満たす3以上の整数 k は $k = 3, 4, 5$

[1]: $k = 3$ のとき

$\alpha = \frac{1}{5}, \beta = 1$ であり、 $f(x) < 0$ の解は $\frac{1}{5} < x < 1$ であり、この中に整数はない。

[2]: $k = 4$ のとき

$\alpha = \frac{4 - \sqrt{11}}{5}, \beta = \frac{4 + \sqrt{11}}{5}$ であり、 $f(x) < 0$ の解は $\frac{4 - \sqrt{11}}{5} < x < \frac{4 + \sqrt{11}}{5}$ であり、この中に整数は $x = 1$ の1個である。

[3]: $k = 5$ のとき

$\alpha = \frac{5 - 2\sqrt{5}}{5}, \beta = \frac{5 + 2\sqrt{5}}{5}$ であり、 $f(x) < 0$ の解は $\frac{5 - 2\sqrt{5}}{5} < x < \frac{5 + 2\sqrt{5}}{5}$ であり、この中に整数は $x = 1$ の1個である。

[1], [2], [3] より、求める整数 k は $k = 4, 5 \dots$ 圏

<補足>

$$\text{解と係数の関係から } \begin{cases} \alpha + \beta = \frac{2k}{5} \\ \alpha\beta = \frac{1}{5} \end{cases} \text{ で,}$$

$$\begin{aligned} (\beta - \alpha)^2 &= (\alpha + \beta)^2 - 4\alpha\beta \\ &= \frac{4k^2}{25} - \frac{4}{5} \\ &= \frac{4(k^2 - 5)}{25} \end{aligned}$$

$\beta - \alpha > 0$ であるため、 $\beta - \alpha = \frac{2\sqrt{k^2 - 5}}{5}$ として処理してもよい。

【戦略2】

$f(1) = 6 - 2k$ の符号に注意します。

【解2】 部分的別解

$$\begin{aligned} f(x) &= 5x^2 - 2kx + 1 \\ &= 5\left(x - \frac{k}{5}\right)^2 + 1 - \frac{k^2}{5} \end{aligned}$$

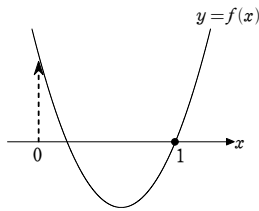
とおく。

題意を満たすためには、 $f\left(\frac{k}{5}\right) < 0$ 、すなわち $1 - \frac{k^2}{5} < 0$ とならなければならず、これより $k^2 > 5$ であるため、 $k = 3, 4, 5, \dots$ である。

$f(1) = 6 - 2k$ に注意する。

[1]: $k = 3$ のとき

$f(1) = 0$ であり、 $f(n) < 0$ となる整数 n は存在しない。



[2]: $k \geq 4$ のとき

$f(1) < 0$ である。

$f(n) < 0$ を満たす整数 n が $n = 1$ のみであればよく、 $f(2) \geq 0$ となればよい。

$$f(2) = 21 - 4k \geq 0$$

$$k \leq \frac{21}{4} \text{ であり, } 4 \leq k \leq \frac{21}{4}$$

これを満たす整数 k は $k = 4, 5$

以上 [1], [2] から、求める k の値は $k = 4, 5 \dots$ 圏

【戦略3】 (数Ⅲの内容を含む)

与えられた不等式を

$$n > 0 \text{ かつ } \frac{1}{2} \left(5n + \frac{1}{n}\right) < k$$

と変形します。

定数分離という定番の考え方の一つですが、定義域が整数であることを踏まえて

曲線 $y = \frac{1}{2} \left(5x + \frac{1}{x}\right)$ が直線 $y = k$ の下にある部分の x の範囲に

整数値が1個含まれるような k の範囲を考える

という言いかえをきちんとできるかが問題です。

【解3】

$k > 0$ であるため、 $n \leq 0$ のとき $5n^2 - 2kn + 1$ の値は正の値となり題意の不等号を満たさない。

ゆえに、題意の不等式を満たす整数 n が存在するのであれば、その n は $n > 0$ である。

$$\text{このとき, } 5n^2 - 2kn + 1 < 0 \Leftrightarrow \frac{1}{2} \left(5n + \frac{1}{n}\right) < k$$

よって、曲線 $y = \frac{1}{2} \left(5x + \frac{1}{x}\right)$ が直線 $y = k$ の下にある部分の x の範囲に整数値が1個含まれるような k の範囲を考える。

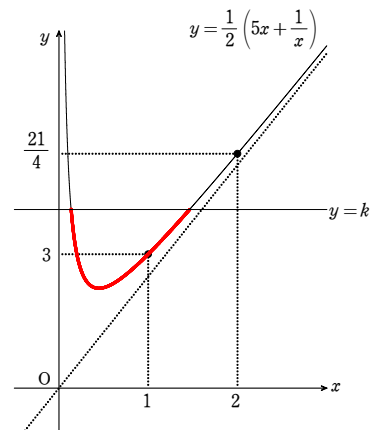
$$g(x) = \frac{1}{2} \left(5x + \frac{1}{x}\right) \ (x > 0) \text{ とすると, } g'(x) = \frac{1}{2} \left(5 - \frac{1}{x^2}\right) = \frac{5x^2 - 1}{2x^2}$$

x	(0)	...	$\frac{1}{\sqrt{5}}$...	(∞)
$g'(x)$		-	0	+	
$g(x)$	∞	\searrow	$\sqrt{5}$	\nearrow	∞

$x > 0$ の範囲では

という増減表を

得る。



題意を満たすような k の範囲は $3 < k \leq \frac{21}{4}$

これを満たす正の整数 k は $k = 4, 5 \dots$ 圏

【戦略4】

題意の n があるとなれば、 $n > 0$ です。

そこで、与えられた不等式を

$$n(5n - 2k) < -1$$

と見てやると、ざっくりと $5n - 2k \geq 0$ だとマズイことが見いだせます。

【解4】

$k > 0$ であるため、 $n \leq 0$ のとき $5n^2 - 2kn + 1$ の値は正の値となり題意の不等号を満たさない。

ゆえに、題意の不等式を満たす整数 n が存在するのであれば、その n は $n > 0$ である。

さて、与えられた不等式は

$$n(5n - 2k) < -1$$

と変形でき、 $n > 0$ であることから、 $5n - 2k < 0$ である必要がある。

これより、 $0 < n < \frac{2k}{5}$

必要条件

これを満たす整数 n がただ1つであるための正の整数 k は

$$k = 3, 4, 5$$

であり、そのときの整数 n は $n = 1$

[1]: $k = 3$ のとき $5n^2 - 6n + 1 < 0$ 、すなわち $\frac{1}{5} < n < 1$ であり

これを満たす整数 n は存在しない。

[2]: $k = 4$ のとき $5n^2 - 8n + 1 < 0$ 、すなわち $\frac{4 - \sqrt{11}}{5} < n < \frac{4 + \sqrt{11}}{5}$

であり、これを満たす整数 n は $n = 1$ のみ

[3]: $k = 5$ のとき $5n^2 - 10n + 1 < 0$ 、すなわち $\frac{5 - 2\sqrt{5}}{5} < n < \frac{5 + 2\sqrt{5}}{5}$

であり、これを満たす整数 n は $n = 1$ のみ

以上から、求める正の整数 k は $k = 4, 5 \dots$ 圏

【総括】

軸である $x = \frac{k}{5}$ に一番近い整数に注目する方針は5で割った余りで場合分

けが発生するため、見送りたいと思います。

様々な解法が考えられますが、

【解1】：必要性と十分性の確認

【解2】 【解4】：観察力

【解3】：言いかえ力

と、何かしら山場があります。